

あとがき

思い起こせば本研究会設立の3～4年前より、亜鉛の臨床面での重要性を痛感し、亜鉛の栄養・治療の普及を熱望されておられました宮田學先生は、臨床各科で亜鉛に興味を持ち孤軍奮闘しておられる先生方が集い勉強し合える会、そしてまた臨床医とくに実地医家に亜鉛治療の必要性を認識していただくための会の設立を思い立ち、種々思案されておられました。

その当時、種々の学会、研究会の立ち上げ、創設、運営に少なからず経験しておりました私の所へも機会あるごとにその設立、運営のノウハウについてご相談に來られました。そのような経緯から本研究会には設立時より顧問として参加協力させていただいておりますが、宮田學先生の熱意が呼び寄せるが如く、株式会社シノテスト様や発足人の先生方などのご協力も得られ、平成22年(2010年)4月1日に「近畿亜鉛栄養治療研究会」として設立される運びとなりました。

研究会としての学術集会は毎年2回、2月と8月の第1土曜日に、大阪江坂の株式会社シノテスト大阪支店にて開催し、その記録は会誌「亜鉛栄養治療」(Journal of Zinc Nutritional Therapy)に掲載し、会員に配布するとともに、全国の大学医学部および医科大学図書館に寄贈し、また近畿の主要地区医師会にも寄贈し、亜鉛の栄養治療の普及に努力しておりますが、本研究会も今年で3周年を迎えました。

現在では、多くの方々のご指導、ご支援のお蔭で組織基盤も整って来ており、会員300人以上を擁する研究会に発展しております。臨床各科の医師のみならず、看護師、栄養士、臨床検査技師その他パラメディカルの医療職の方々、基礎医学、薬学、農学関係の研究者の方々、さらには患者さんや一般会員の方々など、特定の専門分野に関わらず幅広い方々の参加がみられ、毎回学術集会において熱心な質疑応答が行われております。

本書に見られますように、毎回の学術集会では亜鉛治療に関する幅広い分野からの興味ある講演が用意され、また役に立つ質疑応答や面白い目から鱗の関連話も多く、参加者にとって魅力ある勉強会となっております。とくに、臨床面での亜鉛治療に関しては長い間進展せず、手付かずにあった多くの問題点が1つ1つクローズアップされ、臨床医への理解を深めております。

このような本研究会からの地道な発信がやがては臨床領域とくに臨床医への啓蒙や教育に繋がり、亜鉛の重要性や必要性について臨床医の意識や認識を変えていくものと思います。また、本会への参加による交流が臨床面における亜鉛の栄養治療の普及を拡大させていくものと思います。

この度、3周年記念事業の一環として、第1巻第1号から第3巻第2号までの6号の会誌に掲載された25編を1冊にまとめ項目別に編集し、「亜鉛栄養治療」論文集(第1集)として出版することになりました。亜鉛に関する7編の総説や肝疾患、脾疾患、腎疾患、神経疾患、糖尿病、皮膚疾患、整形外科疾患、産婦人科疾患、栄養管理、測定法など18編

の研究論文が纏められております。きっと日常の实地診療や各自の健康維持増進にお役に立つものと存じます。

最後に、発足当時より本研究会に関わらせていただいている顧問の1人として、亜鉛の臨床面での重要性を提唱し、臨床分野への啓蒙、教育を熱望され、本研究会の設立ならびに運営にご尽力されて来られました宮田學先生はじめ協力者の皆様に敬意を表します。

平成 25 年 7 月 吉日

前日本微量元素学会理事長
厚労省（独）労働安全衛生総合研究所客員

荒川 泰昭

亜鉛栄養治療

論文集

(第1集)



近畿亜鉛栄養治療研究会編

亜鉛栄養治療 論文集 (第1集)

目 次

「亜鉛栄養治療論文集」(第1集) 発刊に際して	宮田 學	4
「亜鉛栄養治療」の発刊に寄せて	井村裕夫	5

総 説

諸疾患における亜鉛測定の意義-内科領域を中心として-	宮田 學	7
生体機能における亜鉛トランスポーターの重要性		
-亜鉛トランスポーターをめぐる最近の知見-	神戸大朋	28
なぜ亜鉛が必要なのか? : 亜鉛シグナル研究の包括的考察	深田俊幸	39
稀でない子どもの微量元素欠乏症~亜鉛を中心に考える~	児玉浩子	48
味覚障害と亜鉛	任 智美	58
Wilson 病に対する亜鉛治療の実際	清水教一	66
亜鉛と消化管~熱ショックタンパク質 (HSPs) の解析から~	内藤裕二	71

研 究

(1) 肝疾患

肝硬変の窒素代謝異常と亜鉛	片山和宏	76
慢性肝疾患治療における亜鉛投与の意義…肝線維化における検討	高松正剛	85
亜鉛欠乏によって誘導される肝線維化のメカニズム	湯浅 (小島) 明子	91
C型慢性肝炎におけるインターフェロン療法と亜鉛		
-亜鉛製剤はインターフェロン・リバビリン療法における血球減少性副作用を抑制しうるか?-	川口雅功	97
C型慢性肝疾患患者における微量金属代謝について	樋本尚志	106
各種慢性肝疾患における主な微量元素 (亜鉛・鉄・銅) 解析とその臨床的意義	福沢嘉孝	116
肝性脳症を伴う肝硬変患者における亜鉛投与の効果と有効投与量の検討	高口浩一	125

(2) 脾疾患

脾疾患における亜鉛の有用性について	伊佐地秀司	135
-------------------	-------	-----

(3) 腎疾患

慢性腎疾患 (CKD) における亜鉛欠乏性貧血	福島達夫	149
-------------------------	------	-----

(4) 神経疾患

神経変性症における微量金属の役割, 鉄を中心に	宮嶋裕明	158
ウイルソン病と酸化ストレス	玉井 浩	166

(5) 糖尿病

亜鉛錯体と糖尿病・メタボリックシンドローム	桜井 弘	171
-----------------------	------	-----

(6) 皮膚疾患

アトピー性皮膚炎の亜鉛補充療法…………… 有沢祥子 179

(7) 整形外科疾患

リウマチ性疾患と亜鉛…………… 小野静一 183

骨粗鬆症と亜鉛…………… 藤山 薫 198

(8) 産婦人科疾患

妊産婦と胎児環境における亜鉛の重要性と補充療法の有用性…………… 内田季之 205

(9) 栄養管理

経管栄養と亜鉛－長期管理における問題点と対策－…………… 伊藤明彦 211

(10) 測定法

生化学自動分析装置を用いた亜鉛比色測定法…………… 日暮和彦 219

あとがき…………… 荒川泰昭 225